



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場会社名 東京鐵鋼株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5445 URL <http://www.tokyotekko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉原 每文
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 柴田 隆夫 (TEL) 03(5276)9701
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	19,975	34.6	△125	—	△163	—	22	194.1
2022年3月期第1四半期	14,846	△2.7	204	△91.6	161	△93.7	△23	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △50百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 △60百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	2.48	—
2022年3月期第1四半期	△2.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	66,085	42,272	63.9
2022年3月期	63,062	42,413	67.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 42,207百万円 2022年3月期 42,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期の第2四半期末及び期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

2023年3月期の第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的に算定することが困難なため開示しておりません。今後、合理的な予想が可能となった時点で業績予想を速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	9,365,305株	2022年3月期	9,365,305株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	339,795株	2022年3月期	339,672株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	9,025,601株	2022年3月期1Q	9,285,359株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料p. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が普及したことなどにより、経済活動の正常化に向けた動きが見られたものの、為替相場の急激な円安の進行やロシア・ウクライナ情勢を起因とした原材料価格の高騰、及びサプライチェーンの混乱が生じるなど、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社は、前期から上昇している主原料の鉄スクラップ価格に対応する適正な製品価格の実現に向けて受注活動を行ってまいりましたが、鉄スクラップの他、副資材や電力エネルギーなどの上昇により、経常利益では赤字が残る厳しい経営環境となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は製品販売量の増加及び製品販売価格の上昇により、199億7千5百万円と前年同期比51億2千9百万円(34.6%)の増収となりました。

利益につきましては、鉄スクラップ及び副資材価格の期初の上昇により、営業損益は前年同期比3億3千万円減益の1億2千5百万円の損失、経常損益は前年同期比3億2千4百万円減益の1億6千3百万円の損失となり、親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては法人税等調整額の減少等により前年同期比4千6百万円増益の2千2百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、主として現金及び預金、商品及び製品の増加により、前期末に比べ30億2千2百万円増加し、660億8千5百万円となりました。

負債合計は、主として長期借入金、営業外電子記録債務及び賞与引当金の増加により、前期末に比べ31億6千3百万円増加し、238億1千3百万円となりました。

純資産合計は、主としてその他有価証券評価差額金及び利益剰余金の減少により、前期末に比べ1億4千1百万円減少し、422億7千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的に算定することが困難なため開示しておりません。今後、合理的な予想が可能となった時点で業績予想を速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,375	9,546
受取手形及び売掛金	7,670	7,672
電子記録債権	671	576
商品及び製品	10,585	12,035
原材料及び貯蔵品	3,082	3,052
その他	2,229	1,678
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	31,613	34,559
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,933	3,882
機械装置及び運搬具（純額）	8,488	8,325
土地	8,595	8,595
リース資産（純額）	206	191
建設仮勘定	544	701
その他（純額）	847	895
有形固定資産合計	22,615	22,592
無形固定資産	166	169
投資その他の資産		
投資有価証券	6,372	6,155
退職給付に係る資産	585	602
繰延税金資産	1,222	1,550
その他	509	479
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	8,667	8,764
固定資産合計	31,449	31,525
資産合計	63,062	66,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,487	7,693
電子記録債務	353	501
営業外電子記録債務	64	270
短期借入金	3,000	3,000
1年内返済予定の長期借入金	715	415
リース債務	85	83
未払法人税等	215	82
賞与引当金	466	627
その他	1,845	2,114
流動負債合計	14,233	14,790
固定負債		
長期借入金	3,735	6,330
リース債務	155	137
再評価に係る繰延税金負債	347	347
退職給付に係る負債	1,770	1,813
資産除去債務	75	75
その他	330	317
固定負債合計	6,415	9,023
負債合計	20,649	23,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,839	5,839
資本剰余金	1,851	1,851
利益剰余金	33,192	33,124
自己株式	△560	△560
株主資本合計	40,323	40,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,257	1,182
繰延ヘッジ損益	△0	-
土地再評価差額金	794	794
為替換算調整勘定	9	10
退職給付に係る調整累計額	△36	△35
その他の包括利益累計額合計	2,024	1,951
非支配株主持分	65	64
純資産合計	42,413	42,272
負債純資産合計	63,062	66,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	14,846	19,975
売上原価	12,715	18,192
売上総利益	2,130	1,783
販売費及び一般管理費		
運搬費	792	863
給料	280	288
退職給付費用	33	36
賞与引当金繰入額	109	60
減価償却費	18	13
賃借料	110	113
研究開発費	104	41
その他	476	491
販売費及び一般管理費合計	1,925	1,909
営業利益又は営業損失(△)	204	△125
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	25	31
仕入割引	30	45
為替差益	0	-
雑収入	39	29
営業外収益合計	94	107
営業外費用		
支払利息	12	19
為替差損	-	12
持分法による投資損失	120	107
その他	5	4
営業外費用合計	138	144
経常利益又は経常損失(△)	161	△163
特別利益		
固定資産売却益	4	0
特別利益合計	4	0
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	23	18
特別損失合計	24	18
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	140	△180
法人税、住民税及び事業税	190	88
過年度法人税等	64	-
法人税等調整額	△90	△291
法人税等合計	164	△203
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23	22
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23	22

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23	22
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	△78
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△0	0
退職給付に係る調整額	1	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	3
その他の包括利益合計	△37	△72
四半期包括利益	△60	△50
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△60	△50
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

連結子会社においては、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	鉄鋼事業				
売上高					
顧客との契約から生じる収益	14,682	1,321	16,003	△1,157	14,846
外部顧客への売上高	14,620	225	14,846	—	14,846
セグメント間の内部売上高 又は振替高	61	1,095	1,157	△1,157	—
計	14,682	1,321	16,003	△1,157	14,846
セグメント利益	130	65	196	8	204

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物運送、設備等のメンテナンス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	鉄鋼事業				
売上高					
顧客との契約から生じる収益	19,785	1,327	21,113	△1,137	19,975
外部顧客への売上高	19,758	217	19,975	—	19,975
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27	1,109	1,137	△1,137	—
計	19,785	1,327	21,113	△1,137	19,975
セグメント利益又は損失(△)	△300	162	△138	12	△125

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物運送、設備等のメンテナンス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額12百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。